

2024年 3月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 3月 3日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会： 笹井 あかね
聖書講話：マルコによる福音書 (第54回・最終回) 15章42～16章20節
「イエスの埋葬と復活」 水戸 潔

- 3月10日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会：大手 美千代
聖書講話：ヨハネによる福音書 15章13～14節
「荻野吟子の生涯」 武井 めぐみ

- 3月24日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会：溝口 春江
聖書講話：聖書箇所、題名未定 永井 徹

- 3月31日 (日) イースター集会 (アクト研修交流センター37セミナー室)
司会：水戸 潔
聖書講話：ヨハネによる福音書14章1～6節、20章24～29節
「わたしが道である 真理であり、命である」 武井 陽一
感話会：(イースターを迎えて、1人5分程度の感話)
ひき続いて、溝口春江さんが用意される昼食を共に頂きます。
参加される方は 前もって、武井めぐみ まで申し込みください。

復活の希望

溝口 正

イエスは十字架上で「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」(わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか)と、神に疑問を投げかけて息絶えた。たしかにイエスは、死の瞬間、父なる神に見捨てられたと感じられたのである。我々もまた、「神の御子がなぜ？」と天を見上げて問いを發する。

しかしイエスの生涯を見よ。イエスへの疑問を通して我々に深い神の真理が示される。イエスはこの世のどん底に生まれることによって、どん底の人々と連帯し、悔改めの必要な罪人と連帯するために、身を低くしてヨハネから洗礼を受け、この世で過酷な侮辱を受けている人々と連帯するために、最も悲惨な侮辱に耐えられた。すべての人を愛し救うために……。

「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」の悶絶死も、我々罪人が当然神に見捨てられる苦しみと死を、神が罪なきイエスに真先に味わわせたのではないか。それは神に見捨てられて当然の我々を救うために、神が涙と共にうち給うた先手ではないだろうか。

しかし見よ、その壮絶な死の淵から、全能なる神はイエスをよみがえらせ給うた。死は終りではなく、その先に、復活があったのだ。復活の力はキリストの父なる神にのみある。神は愛である。命である。全能である。御子キリストの十字架の苦しみと死は、罪深き我らを永遠の滅びから救い出すための神の御業であった。我々は、これを心に信じたとき、現実罪の赦しと復活の希望を与えられる。

それゆえ、イエス・キリストを信じる者は、召される時が来ても、安心してこの世を去ることができる。主のよみがえりに与かる希望を抱いて……。

(2000年4月『復活』第401号)